

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題

周防大島を『まるかじり』

1月17日、第10回周防大島まるかじり(主催・周防大島まるかじり実行委員会)が、日良居庁舎(旧日良居中学校)周辺で開催され、約6千人(主催者発表)の人出で賑わいました。

今回も「紅白餅合戦」と銘打って、過去最多の1万5千個の餅が4回に分けてまかれました。

会場内では町内の飲食店などが軒を連ね、名物料理や特産品などを販売。軽トラ市場も数多く出店しました。

イベントの最後には恒例となっている「みかん鍋」も振舞われ、集まった人たちはあつあつの鍋をほお張り、心も体も温まりました。



▶1万5千個の餅が舞った
紅白餅合戦



▶盛況だった「みかん鍋」

人権教育推進大会

1月20日、大島文化センターにおいて周防大島町人権教育推進大会が開催されました。式典では三浦小児童や大島中生徒によるオーピングセラモニーに続き、人権教育啓発作品の表彰などが行われました。

その後の記念講演では、岩国市周東町の岡崎覚豊氏による「めぐり会いの喜び」と題して、出会いの大切さについて講演がありました。



◀表彰式の様子

J Aに消防団協力事業所表示証を交付



▶交付式にて(写真左から)
吉村組合長、椎木町長

「消防団協力事業所表示証制度」で新たに、山口大島農業協同組合が認定され、1月14日、大島庁舎において交付式が行われました。

山口大島農業協同組合は、町内在住の男性役員83名のうち39名が消防団員で、事業所も町内全域にあることから、椎木町長も「大変心強い存在」とこれまでの協力に感謝を述べ、吉村基代表理事組合長も「防災面でも地域のお役に立てれば」と応えました。